



みどり病院
こころのケア外来
看護主任 小野塚 昭恵

「二人で悩まず」相談を！」

私達精神科（こころのケア外来）は、メンタルヘルスに問題を抱える当事者が「誰一人取り残されることなく、住み慣れた地域で安心して暮らせること」を目標に日々奮闘しております。

当外来では、外来診療のみならず訪問診療や訪問看護にも力を入れています。

精神科訪問看護では、自宅に訪問し対話をする以外にも、散歩・掃除・料理・外出同行・電話がけの手助けなど「患者さんの困りごと」全般に対応します。社会的つながりをもつことが苦手な患者さんが、唯一関係性を保持出来ている場合も少なくありません。

家族も含めてまるごと支援する場面も多くあります。



医局リレー



みどり病院
医師 種森 孝至

「整形外科医として感じる事」

者さんから尋ねられること。それは、「あと、どれくらいで治りますか？」という質問です。

同じ病名の患者さんでも、10人いれば、10通りの治り方があります。

みどり病院にお世話になり、8年になります。

回復期リハビリテーション病棟で、専従医として、働いております。

整形外科医として働いていた経験から、当院では、主に、大腿骨・骨盤・脊椎・膝関節の骨折、あるいは、その手術後、脊髄損傷等の方を担当させていただいています。

普段から、感じていることを、3点ほど、書かせて頂きたいと思います。

①日々の仕事の中で、よく思

骨折の場合ですと、一般的には、肋骨で3週間、上腕骨で1ヶ月。大腿骨で8週間。脊椎・骨盤で2ヶ月が目安となります。ところが、治療能力には個人差がありますし、同じ骨の骨折でも、折れ方には個人差があるので、他人と比べても、同じ治り方をする人はいないと思われれます。

②普段から、入院患者さんによく話す事が、あります。「痛い事、何をしても、まず大丈夫です。」

「痛い事は、誰から言われても、しなくて良いです。」

あくまでも、骨折に関して

です。内臓疾患等には、当てはまりませんので、お気をつけ下さい。

③骨粗鬆症について少し。骨粗鬆症になると、骨がもろくなり、背骨が骨折を起こしやすくなります。骨折により、背骨が曲がったり、椎体が潰れたりすることで、身長が縮む事があります。

ご自身の、25歳時の身長と比較して、4cm以上身長が縮んでいる場合は、骨折の危険性が高いとの報告があります。

背中や腰の痛み、背中が丸くなるなどの症状も、骨粗鬆症のサインとして確認される場合があります。

骨粗鬆症による身長低下は、骨折につながる危険性があるため、注意が必要です。4cm以上、身長が縮んでいる場合や、背中や腰の痛みなどの症状がある場合は、新機種が導入された、当院の、骨密度検査やレントゲン検査を受けることを、お勧めいたします。

の相談件数も増え、関わらせていただく機会が多くなりました。

お困りのことがあれば一人

で悩まず相談ください。



半年～1年に1度は骨密度測定をしましょう！

みどり病院 放射線科科长 市原 賢二

みどり病院が2024年5月に新病院へ移転して、早一年が経ちました。この移転で放射線科は機械が大きく変わりました、その一つが骨密度装置になります。今まで使用していた装置は踵の骨に超音波をあてて骨密度を測定する装置でしたが、今回導入した装置は腰の骨（腰椎）と足の付け根の骨（股関節）の2カ所レントゲン撮影をおこなって骨密度を測定するものになります。従来の装置よりも測定したときの誤差が少なくなり正確な測定が可能となりました。仮に異常な数値が出たとしても、2カ所測定していますのでもう一方で診断が可能です。

この装置は骨粗鬆症のガイドラインにも推奨されている測定法になりますので、ガイドラインに則った診断と確かな治療・効果判定が出来ます。

骨粗鬆症はいまや9人に1人。全国で約1590万人もの患者数であり、70歳以上の女性の3人に1人が骨粗鬆症といわれています。

【最近身長が縮んだ・背中が丸くなった・腰が痛む・圧迫骨折をしたことがある・閉経後の女性である・糖尿病や腎臓病で通院中・喫煙している・飲酒量が多い】

このような項目に心当たりがある方はもしかしたら骨粗鬆症かも知れませんが、一度病院医師



へご相談下さい。60歳以上の方は半年から1年に一度は測定をおすすめします。検査は10分程で終わりますので検査を受けられてみてはいかがでしょうか？

岐阜勤労者医療協会社員総会

岐阜勤労者医療協会 専務理事 大橋 正和

理事長あいさつの中で、

映画『ルノワール』の紹介がありました。5月下旬に開催されていたカンヌ国際映画祭のコンペティション部門にノミネートされた日本映画です。旧みどり病院や芥見東小学校はじめ岐阜市内でロケが行われ、みなさんにおなじみの風景も出てきます。岐阜では、各務原イオンシネマや大垣コロナワールドで絶賛上映中です。ぜひご覧ください。



6月20日（金）全国公開
© 2025「RENOIR」製作委員会 / International Partner



5月24日第49回岐阜勤労者医療協会総会が開催され、2025年度の活動方針案が承認されるとともに、新役員の選出がおこなわれました。

2025年度の活動方針案の中で、旧みどり病院の解体計画について報告がありました。アスベストの含有調査などを実施したうえで今年度中に解体をおこなう計画です。解体後の跡地利用については未定で、一旦更地とする予定です。

また今総会の中で、無差別・平等の医療と介護を実践し継承していくためにも、ひきつづき勤労者医療協会へのご協力を募ることを確認いたしました。

新みどり病院開院1周年を祝い、建設運動を振り返る集い

5月24日（土）13時～「新みどり病院開院1周年を祝い、建設運動を振り返る集い」が開催されました。建設運動と推進委員会活動の5年間の振り返りと、岩井雄司医師による『パンデミック（コロナ禍）下の病院建設』『岐阜勤労者医療協会』6年間の取り組みというテーマで、コロナ禍から始まった建設運動について、混乱した医療や介護現場を同時に振り返る内容の講演でした。

